



門ばんネズミのノーマン

フリーマン作 やましたはるお訳 B L 出版

ネズミのノーマンは、美術館のうら手にある、ひみつのぬけ穴の門ばんをしています。ネズミのお客をむかえいれ、人間のガードマンに注意しながら、地下室にしまっているお宝を見せるのです。そんなノーマンの趣味は、芸術品をつくること。今は、ネズミとりの針金をつかって、作品をつくっています。

ある朝、ノーマンは美術館のそばの立てふだに気がつききました。それにはこう書いてありました。「彫刻コンテスト 大きくても小さくてもすべての芸術家に！」

